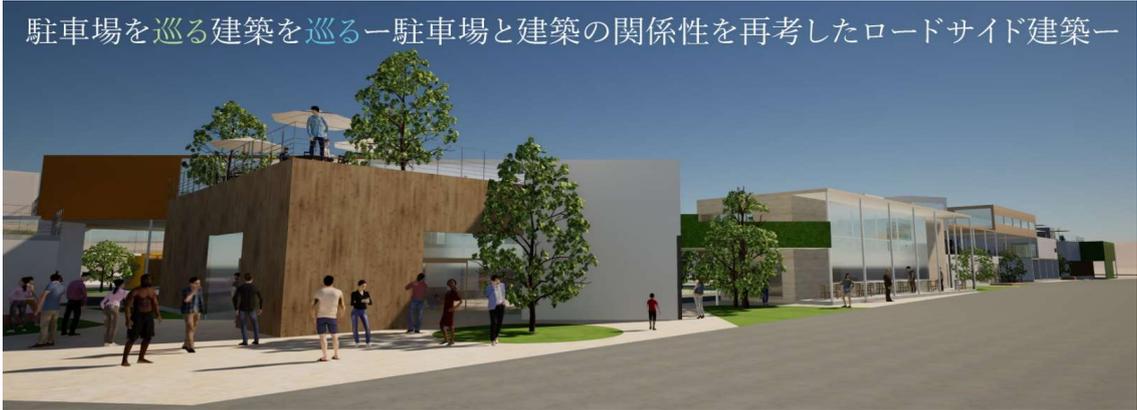
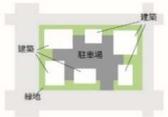
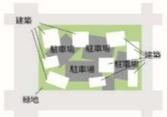


学生卒業設計制作NCF空間ディスプレイアワード受賞作品

受賞年	2024年	
受賞タイトル	奨励賞	
区分	IV. 都市ディスプレイデザイン	
フリガナ	カワイ ミサト	
制作者名	川合 海聖	
フリガナ	ダイドウダイガクコウガクブケンチクガツカケンチクセンコウ	
卒業時の大学 学部・学科	大同大学工学部建築学科建築専攻	
フリガナ	ウノ ススム	職名
推薦者名	宇野 享	教授
フリガナ	チュウシャジヨウヨメグルケンチクヨメグルーチュウシャジヨウトケンチクノカンケイセイヨサイコウシタロードサイドケンチク	
作品名	駐車場を巡る建築を巡るー駐車場と建築の関係性を再考したロードサイド建築ー	
概要	<p>駐車場を巡る建築を巡るー駐車場と建築の関係性を再考したロードサイド建築ー</p>  <p>日本全国の道の駅は、道路沿いに大規模な駐車場が配置され、街並み破壊と画一的な風景を生み出している。交通計画的な利便性を重視しすぎるのではなく、歩くことが楽しく、街並みの美しさに寄与するような建築の在り方を再考する必要があると考えた。</p> <p>風景を刷新する駐車場と施設の関係性を追求したいと考えた。</p> <p>ロードサイド建築の代表格であり、地域性が強く反映される「道の駅」によって、風景を刷新できるのではない</p> <p>前面道路と駐車場の関係</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>従来の配置 前面道路に対して駐車場が面している。車で来ると前につられた配置で、歩行者が入りにくい。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>駐車場と建築の反転 前面道路と建築が近くなり、歩行者が入りやすくなる。車は見えないが、人の動きも見えにくい。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>建築の分散と緑地の導入 建築を分散することで、外部空間が生まれ、人の動きが見える。また、ボリュームが小さくなり、周辺の建物に馴染むようになる。前面道路に対して緑地が面している。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>駐車場の分散と見え方の変化 駐車場を分散させ、敷地内での駐車場の見え方に変化を与える。また、駐車場と建築を回転させることで、見え方に変化を与える。</p> </div> </div>   <p>▲全体 ◀道路からの</p>	

川合 海聖

作品名

駐車場を巡る建築を巡るー駐車場と建築の関係性を再考したロードサイド建築ー

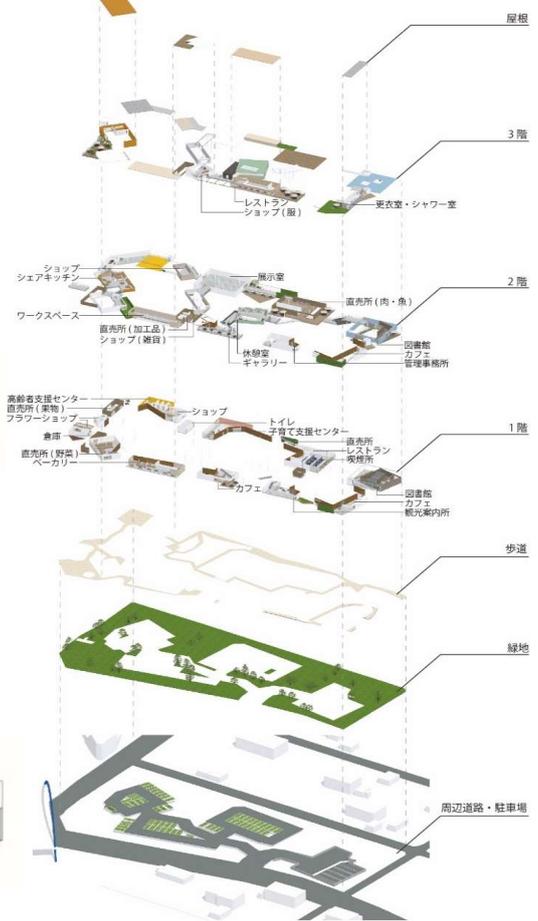
【コンセプト解説】

地域の主要道路と新しい幹線道路が重なる敷地



[対象敷地] 愛知県東海市加木屋町 [設定理由] 新旧の道路が重なる交差点に、歩行者にも開いた「駐車場の見えな

全体構成図



空間構成の手法 ヴォリュームの分散



ヴォリュームを分散させることで、敷地周辺の建物のヴォリュームに馴染み、また、機能を分散する。また、建築を分散させたことにより、余白が生まれ、屋外での居場所が生まれる。

ヴォリュームの重なり

離れた二つのヴォリュームをもう一つのヴォリュームで橋を架けるように重ねることで、1階だけでなく、2階部分でも歩き回れるようになる。また、テクスチャーの違うヴォリューム同士を重ね合わせることで、機能の領域を分けたり、景色の変化を楽しみながら歩き回ったりすることを可能とする。

壁の切り欠き



駐車場に切り取られた壁のテクスチャを変えることで駐車場と建築の関係性を視覚化する。また、緑地や敷地外に向けても切り欠きすることで、軒下空間が生まれ、人々の居場所を作る。



結論

本計画は、駐車場と建築の関係性を再考しながら、テラスやオープンキッチンを遊歩道で繋ぎ、歩きたくなるロードサイド建築を提案した。広い駐車場によって地域資源を消すのではなく、歩行空間によって継承が発見できる。そのような可能性をロードサイド建築が秘めているということを示唆できたのではないだろうか。